

市民意識調査「まちづくりにあなたの声を」アンケート結果

市では、住民のみなさんがまちづくりについて、日ごろ感じている意見や要望を聞かせていただき、これからまちづくりを進めていくための基礎資料とするため、アンケートを行いました。結果については、次のとおりです。
※平成 29 年（第5次後期基本計画開始時）の調査結果と比較しています

企画財政課企画経営室 ☎ (25) 1101

調査対象

令和2年9月に市内在住の18歳以上の市民2,000人のかたを無作為抽出で選び、704人(35.2%)のかたから回答をいただきました。

回答者の年代別

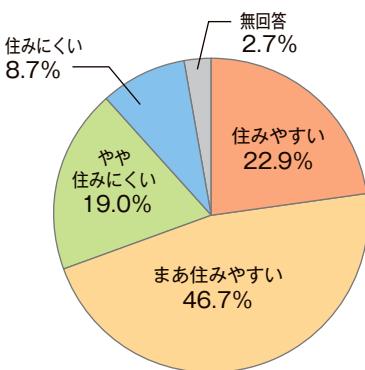
回答者の年代別割合は次の表のとおりで、そのほか無回答のかたが3.0%でした。

10歳代	0.6%
20歳代	5.3%
30歳代	6.0%
40歳代	9.5%
50歳代	16.3%
60歳代	25.3%
70歳代	26.4%
80歳代	7.7%

鳥羽への愛着

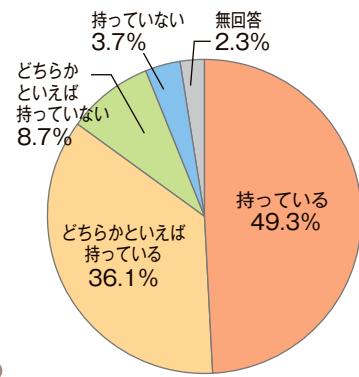
「住みやすい」「まあ住みやすい」を合わせて69.6%となってています。(平成29年調査では65.3%)

また、19.0%のかたが「やや住みにくい」、8.7%のかたが「住みにくい」と答えています。



鳥羽への愛着

全体で「持っている」かたは49.3%、「どちらかといえば持っている」が36.1%となり、85.4%のかたが愛着を持たれています。(平成29年調査では82.8%)



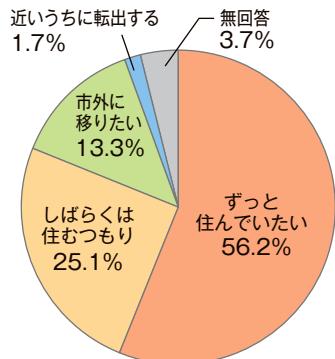
力を入れてほしいまちづくり分野

全体では、保健医療が17.1%と最も高く、次いで、雇用促進14.8%、福祉11.5%となっています。

今後の定住について

「ずっと住んでいたい」「しばらくは住むつもり」を合わせて81.3%となっています。(平成29年調査では79.2%)

住み続けたい理由については、すべての年齢層で「緑や自然環境が豊かである」「犯罪が少なく風紀がよい」が高くなっています。次いで、全体としては「公害が少ない」「近所づきあいなどの人間関係がよい」が高くなっています。



*各グラフや表の百分率は小数点第二位を四捨五入して小数点第一位まで表記しているため、合計が100にならない場合があります。

市政に対する満足度・重要度

重要度が高かった施策

- 消防・救急体制を充実する
- 安全で安定した水を提供する
- 安心できる社会保障制度を運営する
- いざという時の受診体制を整える
- 災害から市民生活をまもる

重要度が低かった施策

- 地域づくりに歴史文化を活かす
- 市民・来訪者が歴史文化を楽しみ、憩える場をつくる
- 農業に触れる機会をつくる

満足度が高かった施策

- 安全で安定した水を提供する
- 消防・救急体制を充実する
- 健康づくりに対する意識を高める
- 地域ぐるみで子どもたちを育てる
- 子どもと子育て家庭をやさしく支える

満足度が低かった施策

- 若者の地元での就職や起業を支える
- 将来性のある企業活動・ビジネスを育てる
- 地域産業の経営安定化を図る

くわしい結果については、市ホームページで公開しています。みなさんからの貴重なご意見は、今後の市政運営の参考とさせていただきます。調査へのご協力ありがとうございました。